

## 令和4年度「科学家庭」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	理数科	家庭	科学家庭	2	必修
<b>教科書</b>	「家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来」教育図書				
<b>副教材</b>	県版学習ノート、家庭科55資料集				

### 学習の目的

- 1 将来にわたって健康で心豊かな暮らしができる自立した生活者に近づくこと。
- 2 五感を意識した体験と思考を往還し、必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得すること。
- 3 科学的根拠に基づいて想像力を働かし、人とのつながりを意識した共生を大切に生活を創造すること。

### 学習の目標

		評価の割合
<b>I</b> 知識・技能	・持続可能な社会をつくる暮らしの担い手として必要なことの概要が説明できる。	4
<b>C</b> 思考・判断・表現	・協働的に学びを通し五感を意識した体験を行い、コミュニケーション力を付けることができる。 ・学んだ知識を家庭で活用する機会を持ち続けることができる。	3
<b>E</b> 学びに向かう力・人間性等	・科学的根拠に基づいた工夫に二高ICEモデルを活用し、取り組み方・考え方・生き方について深めることができる。	3

### つきたい力

課題に気づく力・要約する力・食選力・段取り力・タイムマネジメント力・実践力・行動力・協働力・共感力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力

### 評価方法

	I	C	E
◇ 1学期・2学期・学年末考査を実施します。考査では、記号選択式で「知識に関する問題」、記述式で「思考を促す問題（思考判断表現）」と「実践活動を振り返る問題（主体的に学習に取り組む態度）」を出題します。	○	○	○
◇ 技能に関しては、二高ICEモデルのチェックリスト（評価表）を使用し、自己評価・相互評価・教師評価を行います。	○	○	
◇ googleclassroom「課題」を活用し、思考を促す問い（単元を貫く問い）の記述課題を出題します。		○	○
◇ googleclassroom「質問」を活用し、自分の学びや態度を思考する記述課題を出題します。			○
◇ 「振り返りのたまご」形式での振り返りを毎時間描き、学びを振り返ります。		○	○

### 履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ 「振り返り」を大切にしています。何を学んだのか、何ができるようになったのか丁寧に記述をしていきましょう。
- ◇ 学習に必要ですので、必ずA4サイズ大学ノートを準備してください。
- ◇ 授業時間外にchromebook（googleclassroom・forms・サイト）を使って事前課題や事後まとめを実施します。主体的に効率よく、思考を意識し取り組みましょう。
- ◇ 記述の評価ルーブリックには、二高ICEモデル観点で作ったものを使用します。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C-E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	オリエンテーション 学校家庭クラブ活動 自立度チェック A編1 生活設計 ①自分の将来を見通そう 2 青年期と家族 ①これからの人生に向かって ②家族・家庭とは何だろうか？	・中学校までの学びを振り返り、授業の目標を見通す。 ・自立度チェックに取り組むことで、自分の現状をメタ認知する。 ・「英語の普段使い」を念頭に、目標設定を英語でプレゼンを試行する。 ・ブレインライティングを行い、自立のために必要なことの気づきをまとめる。 ・自分の将来を見通す。		* 自立へ向かい、どのようなことができるようになりたいと目標設定しますか？ * 人生の見通しをどのように持ちますか？	○	○ ○ ○	○
	5	③これからの家庭生活と社会 B編2 衣生活 ①衣服のはたらき ②衣服ができるまで ③衣服の計画と管理	・家族を見つめる新聞レポートに取り組み、現代の家族問題を列挙する。 ・家族が活用できる「あずま袋」作成のため、必要な材料や用途を指摘する。 ・家族での衣替えに取り組み、報告する。		* 新聞を通して考えた「現代の家族の課題」とは何でしょうか？	○	○	○
	6	④これからの衣生活 B編1 食生活 ⑤おいしく食べるために A編3 保育 ①子どもの成長を見つめる 学校家庭クラブ活動	・エコバックとして活用する和手ぬぐいのあずま袋を製作する。(並縫い、ボタン付け) ・学校家庭クラブ活動の1つとして、「二高弁当の日」に取り組む。		* 持続可能な衣生活へ向けて、環境や社会への影響に配慮した消費生活とは？	○	○	○
	7	②子どもの生活と保育 ③これからの子育て環境 自立度チェック B編1 食生活 ①「食べる」ということ ホームプロジェクト	・チャイルドビジョンを使った体験をし、子どもの視野を感じる。 ・子どもの視野や行動の特徴を踏まえ、子どもの安全について場面を指摘する。 ・家族の生活を見渡して、課題を見だし、解決のための仮説を設定する。 ・課題解決のアイデアをブレインライティングで共有する。	1学期末考査	* 社会の一員として、子どもと関わり育んでいくために、今のあなたがすべきことは？ * 家族の生活を一層よくするためには？	○	○	○
第2学期	9	D編ホームプロジェクト A編4 高齢期 ①高齢期ってどういう時期？ ②高齢化する日本を生きる 5 共生社会 ①共生とは？ ②ノーマライゼーションとは	・ホームプロジェクトの振り返りを行う。(振り返りチャートを使う) ・ホームプロジェクトを相互共有し、次回のテーマを再設定する。相互共有は英語で実施する。 ・本を協働的に読む手法(ABD)で本「認知症とともに生きる」を読む。		* 地域・社会の一員として、今のあなたができることは？	○	○	○
	10	B編1 食生活 ①「食べる」ということ ②私たちが食べているもの ③安全に食べるために ④健康に食べるために ⑥ずっと食事を楽しむために	・動画視聴と実習計画表作成で手順を記列する。 ・家庭実習を実施し、効率的で衛生的な調理手順の再構成をする。 ・家庭科技術検定食物調理4級に取り組み、自分に技術を評価する。		* 持続可能な食生活のために、あなたが今できることは何ですか？	○	○	○
	11		・異文化献立の調理実習を行い、文化の違い・調理法の特徴を記述する。 ・りんご1個を皮むきし、廃棄率計算とスピードを検証する。 ・食品ロスに関する問題を討議する。		* 食を通して異文化を見つめてみましょう。	○	○	○
	12	A編3 保育 ①子どもの成長を見つめる ②子どもの生活と保育 ③これからの子育て環境	・くまもと親の学びプログラムを体験し、親になるということ現在の自分と関係づける。 ・本「お母さんは命がけであなたを生みました」内田美智子著を集団読書し、これまでの学習内容と関連づけて記述する。 ・家庭のおせち料理調査を報告する。 ・おせち料理の家庭実習に取り組み、説明する。	2学期末考査	* 食文化を伝承するためには、どのようなことができますか？	○	○	○
第3学期	1	D編 ホームプロジェクトに取り組み C編1 経済計画 ①家計とお金の将来を考えよう	・ホームプロジェクト発表を通して、日本の食文化について表現する。 ・パンフレット「社会への扉」を使ったクイズに取り組み、最近の問題概要を知る。		* 消費者市民社会を実現していくために、あなたができることは何ですか？	○	○	○
	2	2 消費生活 ①何をどうやって買う？ ②かしこい消費者になろう C編3 環境 ①環境問題を考える ②私たちにできること B編3 住生活 ①「住まい」とは ②安全な住まい	・「生活豆知識」を使ってTKP(紙芝居プレゼンテーション)ポスターツアーを実施する。 ・フェアトレード食品を味わい、消費行動と社会参加を関係づける。 ・住宅内事故、通風と換気について具体的に記述する。		* 地域の実状にあった、仮設住宅の広さと間取りとは？	○	○	○
	3	③快適な住まい ④住まいの課題と未来の暮らし A編 生活設計 ①自分らしい生き方の実現	・住まいを借りることを想定する。 ・年度当初に作成した将来の見通しを振り返り、1年間の学びを生かして見直しを見直す。 ・1年間の学びを「マイグラフィックシラバス」で表現する。英語でプレゼンを行う。	学年末考査	* 授業によってどのような力が身についたと実感してるか？	○	○	○

※行事等で変更になる場合があります。